

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成 30年 1月 30日 (火)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	松寿苑	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	施設長 古殿 雄二	開設年月日	昭和55年4月1日
設置者	社会福祉法人 幸洋福祉会	定員(利用人数)	80名(70名)
所在地	〒744-0051 下松市大字来巻944番地の1		
電話番号	0833-47-1220	FAX番号	0833-47-1222
ホームページアドレス	<a href="http://www.syojuen.com">http://www.syojuen.com</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

全室個室のユニットケアを実施されています。落ち着いた雰囲気の中、利用者の尊厳とプライバシーが確保され、日常生活をその人らしく営むことが出来るように、質の高いサービスが全ての面で提供されています。

施設の介護サービスは、標準マニュアルが周知徹底され、更に施設ケアプランと個人別の手順書、24時間シートによって実施されています。その内容はPDCAサイクルに基づき、常に見直される体制が整っています。

組織体制としては、施設長のリーダーシップのもと、サービスの質を自主的に点検評価し、見直しを行う体制が確立されており、職員が熱心に職務に打ち込んでいる様子が伺えます。

今後とも3年ごとに、定期的な第三者評価を受審されることを推奨します。

更に、職員の個々のスキルアップと利用者の個別支援のより一層の充実を目指し、弛まぬ努力をされることを期待します。

#### ◇改善を求められる点

これからの職員達が、将来に希望を持って職務に励むことができような、施設の経営計画を含む将来展望を描いた中長期計画の策定が望まれます。

更に、各職員が明確な目標を持って取り組むための個別の職員研修計画や、キャリアパス制度の設置が望まれます。

また、文書管理に関する規程が未整備です。(前回、平成26年3月25日評価総評にも同様の指摘有)

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

平成19年2月に初回の第三者評価調査を受けてから以降、今回が4回目の受審となりました。施設をユニット型特養に立て替えてからは今回で3回目となりますが、評価項目や評価における着眼点が受審する都度、若干変更されており、その時々で私たち福祉施設に対し、社会から求められている期待も変わってきていると実感しております。

今回の受審結果を通じて、新たな課題を発見することができました。これらの課題達成はもとより、ご利用者・ご家族・地域住民の方々へさらなる「安心」を提供し続けることができるよう、専心努力する所存です。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	8	b	1	c	0	Na	0
<p>理念・基本方針は明文化され、施設のホームページ、パンフレット、施設内掲示板等に掲示されており、利用者、家族に周知されています。</p> <p>また、管理者は、県・市域の各団体の役員をしており、社会福祉事業全体の動向をいち早く把握していることから、経営課題を明確にされ、職員参画のもとで事業計画を策定されています。</p> <p>今後は、これからの職員達が将来に希望を持って職務に励むことができるような、施設の経営計画を含む将来展望を描いた中長期計画の策定が望まれます。</p>								

II 組織の運営管理	a	16	b	2	c	0	Na	0
<p>施設長はリーダーシップを発揮し、各種会議で課題を挙げて指示を出しており、福祉サービスの質の向上のための取組が、組織的に運営管理されています。</p> <p>また、コンサルタントの指導を受け、職員参加のもとで人事考課基準を定め、期待する職員像を明確にしています。</p> <p>地域貢献活動としては、地域住民を招いての認知症サポーター養成講座や中高生を対象とした介護体験塾の開催等、地域における公益的な取組が行われています。</p> <p>今後は組織全体として、各職員が明確な目標を持って取り組めるような個別の職員研修計画や、キャリアパス制度の設置が望まれます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>理念・基本方針、職員の行動基準・マニュアル等に、利用者を尊重した福祉サービスの提供について明示され、個人別の手順書や24時間シートに個別対応の手順を明示しています。</p> <p>また、完全個室のユニットケアを実施しており、プライバシーが確保されています。権利擁護に関する研修会も開かれており、職員の理解が図られています。</p> <p>更に、適切な福祉サービス提供の観点から、利用者満足の向上のため、利用者懇談会、下松市介護相談員の巡回、意見箱、生活アンケート等で出された意見は、担当者会議で検討され、改善されています。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	34	b	0	c	0	Na	0
<p>良質なサービスを提供するために、マニュアル等にてコミュニケーションの取り方や注意点が明示され、接遇に関する研修が実施されています。</p> <p>また、個別サービスの提供に関しては個人別の手順書や24時間シートを作成し、個々の状況を反映させたケアを提供されています。</p> <p>更に、より高いサービスを提供するために、食事、入浴、排泄、移乗移動等の介助は、個人別の手順書に基づき、利用者それぞれに合わせた支援を実践しています。</p>								